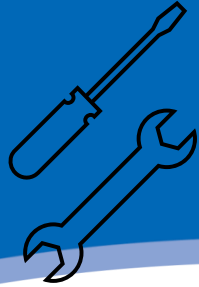


厚労省
「人材開発支援助成金」
対象講座

熟達者の作業を科学化し、作業改善し
動画マニュアル作成と標準時間設定を
習得する

生産性 2-30%UP



作業標準塾

受講対象者 (管理職の再教育が喫緊の課題です!!)

- ・超生産性UPを目指す「BPR責任者」及び「管理職」の育成
- ・新たな利益を獲得するキーマンは、中間管理職です。丸投げではなく作業指導出来る管理職を育成します。
- ・正しい仕組づくりを目指す経営者及び後継者。

日時 : 2022年 9月28日 - 2022年 12月21日 14:00~17:00
毎週水曜日 全12回

方法 : ZOOM による リアルタイム双方向型

受講料 : 30万円/人※税別(申請により約40%の助成金が支給されます)

申込締切日 : 2022年8月19日(金曜日)

責任指導 : 習得いただくまで、再受講は、無償です!!

予約受付開始 (正式募集ではありません)



Reスキル講座 「第四次産業革命スキル習得講座(経産省)」

DX化によるBPR (業務再構築) 責任者養成講座

日時 : 2022年 10月 17日 ~ 2023年 2月 6日
毎週月曜日 全14回 13:00~17:00 (別添のカリキュラムを御参照下さい。)

受講形態 : ZOOM採用 (定員15名 限定)
マンツーマンの塾運営を目指しています。(卒業生300名以上)

受講料 : 25万円(税別)/人
「厚生労働省人材開発支援助成金」の対象講座。(約5割~7割程度の助成金を受けることが出来ます)
(参考HP: [厚生労働省「人材開発支援助成金」\(人への投資促進コース\)](#) 不明点はお問合せください)

申込締切日 : 募集要項の必要な方は、ご連絡ください。

「管理」の意味と
「管理職の役割」
知っていますか？



リアルタイムで質問も出来る
“双方向型”のセミナーです。移
動時間も不要！

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能

CHECK

当該講座は「助成金」対象講座で、受講前の申請により助成金があります。

* 大企業も助成対象になりました。

参考HP: [厚生労働省「人材開発支援助成金」](#)



クリック

不明点はお気軽にお問い合わせください。

学習項目

- ・ 「工程管理」とは
- ・ 「管理職の役割」とは
- ・ 「IE」とは
- ・ 動作経済の原則
- ・ 作業標準化による獲得利益実例
- ・ 動画分析ソフトの活用方法
- ・ 「作業標準」の必要性
- ・ 「作業指導」とは
- ・ 「モーションマインド」とは
- ・ 作業標準/標準時間の正しい定義



お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-hyojun-jyuku>

または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。

参加ご希望記入欄

受講する

詳しい説明を聞きたい

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

【お客様の個人情報の利用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

[作業標準講座]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
1	09/28(水) 14:00 ～17:00	座学_1 作業標準の定義とIE概論 演習_1 レゴブロック組立演習①	<p>「内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準の必要性 IEとは 作業標準/標準時間の定義 作業標準による生産性向上の特徴 作業標準によりメリット事例 「習熟曲線」の理解 <p>「到達目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準の定義とIE概論を理解する 演習を通じて工場の現状を体感する
2	10/05(水) 14:00 ～17:00	座学_2 作業標準化の実現手法 演習_2 レゴブロック組立演習②	<p>「内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準の手順とart&science 動作経済の原則 ムリ/ムダ/ムラ 改善ポイント抽出シート書出し <p>「到達目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準化を実現させる具体的な方法手順を理解する。 演習を通じて、標準化の効果を体感し、作業標準作成時の具体的な会議運営方法を体得する。
3	10/12(水) 14:00 ～17:00	座学_3 IE教育① 演習_3 ・レゴブロック組立演習③ ・動線分析と連合作業分析	<p>「内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業区分の大きさ 時間研究と動作研究 標準化報告書の作成 プラントレイアウトとマテハン 連合作業分析 <p>「到達目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準化を促進させる為の具体的なテクニックを理解する。 演習を通じて、設備投資の効果を体感し、経営者への報告を行う目的を理解する。
4	10/19(水) 14:00 ～17:00	座学_4 作業標準とDX推進①	<p>「内容」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①作業標準がDX推進の柱になる ②作業標準と生産計画立案検証 ③作業標準と製造計画の立案検証 ④作業標準と作業指図と作業指導 <p>「到達目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業標準と社内基幹システムとの関係を理解し、活用出来る知識レベルに到達する。 管理職のあるべき姿を認識し、塾終了後に、正しい管理職としての行動が出来るレベルに到達する。

[作業標準講座]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
5	10/26(水) 14:00 ～17:00	座学_5 作業標準とDX推進② 演習_5 標準原価積上シミュレーション	<u>「内容」</u> ①作業標準と原価管理の実際 ②生産管理システムのデータベースの実務 ③DX推進の事例（運用事例・登録・維持方法） <u>「到達目標」</u> ・工場の機関システムと作業標準/標準時間の関係を理科する。 ・工程管理からアウトプットされるデータが他へ与える影響を理解する。 ・品目別原価計算の具体的計算手法を理解する。
6	11/02(水) 14:00 ～17:00	座学_6 作業分析ソフトを使用するメリットとデメリット 演習_6 作業分析ソフト使用演習	<u>「内容」</u> ・作業分析ソフトを使用した動画付き作業標準書作成 <u>「到達目標」</u> ・工場の機関システムと作業標準/標準時間の関係を理科する。 ・工程管理からアウトプットされるデータが他へ与える影響を理解する。 ・品目別原価計算の具体的計算手法を理解する。
7	11/09(水) 14:00 ～17:00	実技演習_1	<u>「内容」</u> ・サンプル動画を使用して、改善ポイント抽出シート書出し ・標準化の検討議論、グループディスカッション <u>「到達目標」</u> ・動画を見て、動作要素を書出し出来る状態に到達する。 ・IEの観点から、あるべき姿、及び、採用/不採用の判断が出来る状態に到達する。
8	11/16(水) 14:00 ～17:00	実技演習_2	<u>「内容」</u> ・作業標準書を作成 ・標準化報告書作成 <u>「到達目標」</u> ・作業分析ソフトを使用して各種ドキュメントを作成出来る状態に到達する。 ・経営者に提出する報告書を作成出来る状態に到達する。

[作業標準講座]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
9	11/30(水) 14:00 ～17:00	実技演習_3	<p><u>「内容」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の動画を使用して、改善ポイント抽出シート書出し 作業分析ソフトの貸し出し実施 ・標準化の検討議論、グループディスカッション <p><u>「到達目標」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業標準化のプロセスを演習レベルから、実務レベルへ昇華させる。
10	12/07(水) 14:00 ～17:00	実技演習_4	<p><u>「内容」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・再撮影した動画を基に、作業標準書(動画マニュアル)を作成 ・標準化報告書作成 <p><u>「到達目標」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業標準化のプロセスを演習レベルから、実務レベルへ昇華させる。
11	12/14(水) 14:00 ～17:00	実技演習_5	<p><u>「内容」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬報告会 ・自社における、作業標準化によって獲得できる予想効果試算 <p><u>「到達目標」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠をもった設備投資提案が出来る状態に到達する。
12	12/21(水) 14:00 ～17:00	座学_7 ・作業標準の改訂/処理方法と定着化 ・作業標準と作業改善について	<p><u>「内容」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業標準の改訂・処理方法と定着化 <ul style="list-style-type: none"> ①作業標準の新規/改訂の主管部署 ②作業標準の新規/改訂の処理手順 ③周知方法と定着化検証方法 ・作業標準と作業改善について <ul style="list-style-type: none"> ①定義と目的 ②作業改善の処理手続き ③効果検証 <p><u>「到達目標」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾終了後に、社内で継続実施が出来る状態に到達する。